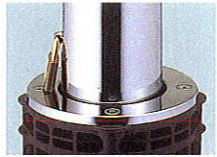


リフターシリーズの特徴

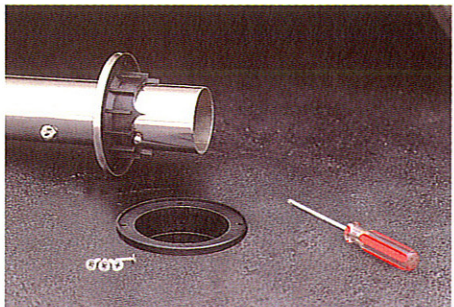


ワンタッチロックタイプ
ロックも解除も専用キー
1本で行うタイプです。
(LA-8・12シリーズのみです)

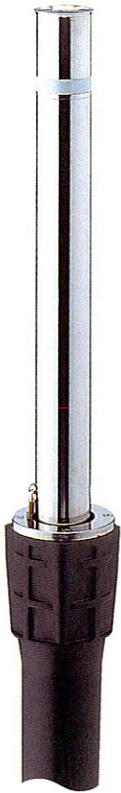


カギ付タイプ
南京錠をかけるタイプです。
カギをつけるロックピンは、
本体に内蔵されています。

埋込スリーブは強化プラスチック（地中に埋めても無害なポリプロピレン）を使用。軽量で腐食がなく、施工も容易です。
(LA-17シリーズは除く)

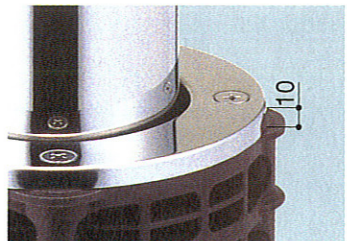
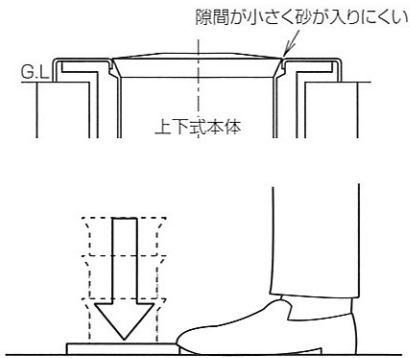


車が接触してポールが曲ってもビス4本をはすすだけで新しいポールと交換できます。基礎からやり直す必要がないので経済的です。



頭部サイズ
LA-5 φ53
LA-8 φ83
LA-12 φ120
LA-17 φ175

頭部を胴体部より若干大きくすることにより、地中収納時に砂が入りにくくなっています。また、大きく出ているため、誤って落下させた場合でも、足元は安全です。

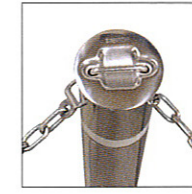
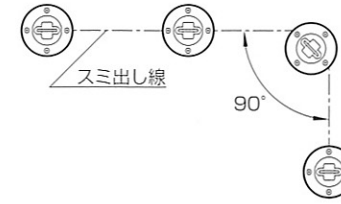


地中に収納時の頭部の出が10mmと低く、歩行者に安全です。



クサリ内蔵型のコーナー設置例(平面図)

■クサリを直角に配置
右図のようにコーナー部の本体を45°にずらして設置してください。



荷重について

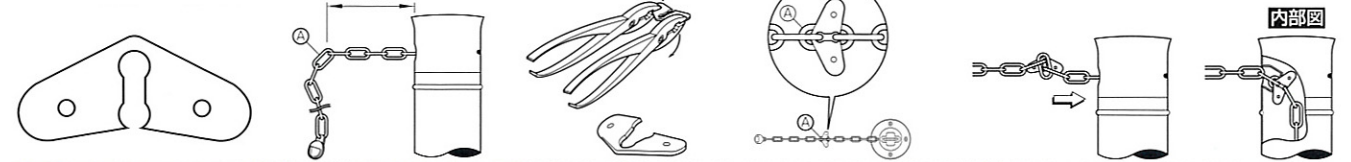
通行車両	
T 荷重	T-20
車種	11トン貨物/大型バス/ダンプ
総重量	20.000Kg

G.L.
※上記20トン車両が通過しても問題ありません。

内蔵クサリを短くする場合

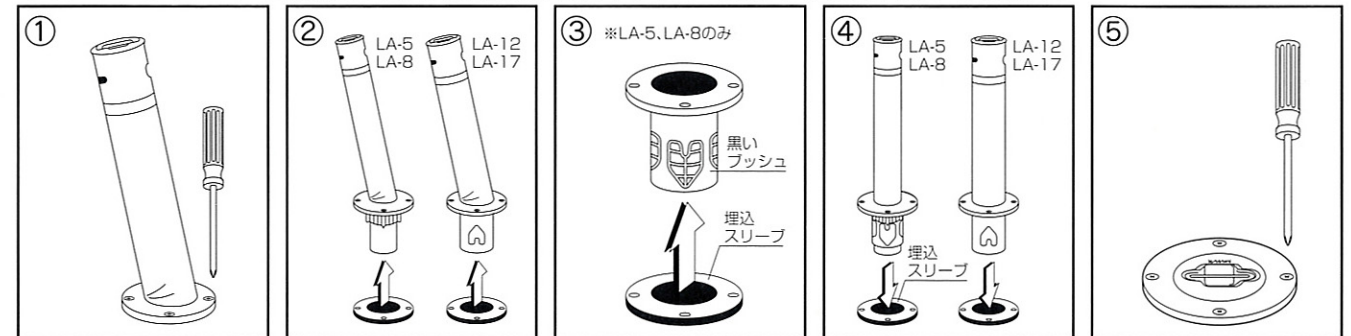
■チェーンストッパー
クサリを短く調節できます。

1. クサリを短くする位置 ④を決める。
2. チェーンストッパーの両側をタテにねじる。
3. ④の位置にチェーンストッパーを取付けます。
4. チェーンストッパーの向きに注意しながら、クサリを本体へ収納します。再びクサリを引き出し、チェーンストッパーが機能するか確認してください。



本体の交換方法

■破損した本体の取り替えは大型のドライバーを使い、下の手順で行ってください。



- ①ビスをはすします。
- ②本体を抜き取ります。
- ③黒いプッシュを除きます。(LA-5, LA-8だけの部品です)
- ④埋込スリーブに新しい本体を差し込み、収納します。
- ⑤付属のビスを締めます。

※ドライバーはLA-5で④No.2、LA-8、12、LA-17では④No.3を使用してください。

※図⑤のビスは、図④の埋込スリーブ材質により仕様異なります。

●材質が黒い樹脂の場合は長いビス：

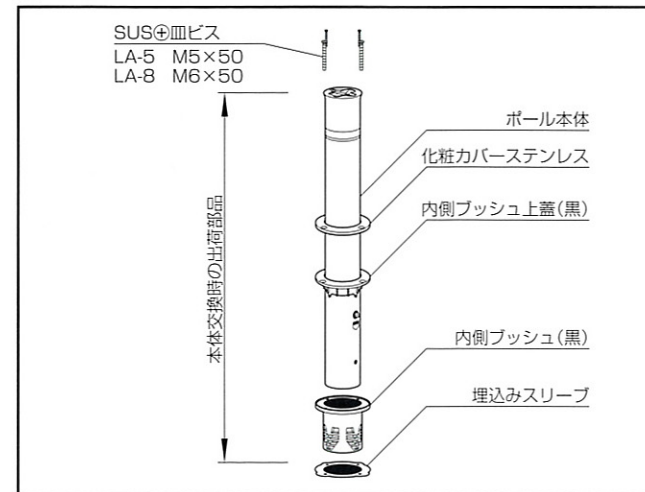


●材質が金属メッキの場合は短いビス：

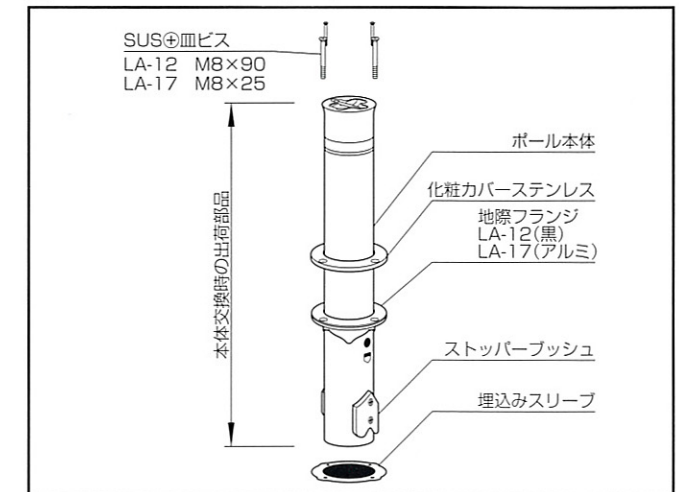


交換用本体構造図

■LA-5・LA-8シリーズ



■LA-12・LA-17シリーズ



※交換本体のみご注文の場合、カギ・ワンタッチロックキーは付属されておりません。